



中

学で全国の頂点に立ち、佐野日本
大学高等学校在学時には夏の甲子
園への出場を果たすなど、早くからその実
力を発揮してきた麦倉さん。佐野日本大学
高等学校入学時には既に高校野球の監督
になりたいという夢を抱いていました。

しかし当時は、プロ野球選手から高校野
球の指導者へ転身する道は認められてい
ませんでした。

制度改正により指導資格を取得し、長年
抱いた夢を実現しました。指導者として普
段からあいさつや礼儀はもちろん、日々努
力を重ねて周囲を思いやり、誠実に行動す
ることの大切さを伝えていきます。

「困ったときに助けてもらえる人になり
なさい」と日々語りかけるのもそのため
です。

夢を貫いた野球人生

プロ野球選手時代に「麦は寒い冬に踏
まれて強くなるんだ」と教えられた言葉
が今も心に残っています。試練を乗り越
えるたび人は強くなる。だからこそ壁に
ぶつかる選手へ「今の苦労は必ず社会で
役に立つ。諦めずに挑戦してみな」と背
中を押します。

そして第98回選抜高等学校野球大会
(春の甲子園)で得た経験を胸に、夏に
向けて一層努力を重ねています。

選手たちにいい経験をしてほしい。そ
の思いで歩んできた軌跡を力に変え、麦
倉さんは今日もグラウンドに立ち、選手
たちの成長を静かに見守っています。

(市民記者 堀越奈央)

キラリ話題の人

麦倉 洋一さん

・佐野日本大学高等学校硬式野球部監督
・元プロ野球選手(阪神タイガース)



▲監督としてグラウンドに立つ姿



ようこそ 市長室からこんにちは!

5月に入り、鮮やかな新緑
と色とりどりの花々が美しく
映える季節となりました。

さて、今月は本市の安全安
心を守る新たな「砦」につい
てご紹介します。先月1日か
ら佐野市と足利市が共同運用
する「とちぎ南西消防指令セ
ンター」が本格始動しました。
佐野市消防本部庁舎内に設置
された同センターは、最新の
デジタル技術を駆使して、両
市の消防活動を一元管理する
中核となります。

最大の特徴は、最新技術に
よる「情報の見える化」です。
「Live-19映像通報シ
ステム」を導入し、通報者の
スマホカメラを通じて現場の
映像をリアルタイムで共有い
ただくことで、音声だけでは
伝わりにくい火災の広がりや
傷病者の様子を正確に把握す
ることができます。これによ
り、現場に到着する前からの
確な応急手当ての指導や、
最適な部隊編成が可能となり
ました。

また、両市の119番通報
を一元管理することで、通報
の受信と同時に応援隊の編成
が可能になるなど、応援体制
が強化され、1分1秒を争う
救急・消防活動において非常
に大きな力を発揮します。

一方で、消防システムがい
かに進化しても、最も大切な
のは事故や災害を未然に防ぐ
ことです。先月からは、自転
車の交通違反に対するいわゆ
る「青切符」の制度が導入さ
れました。一時不停止やスマ
ホを操作しながらの運転など、
身近なルール違反が事故に直
結します。皆さまの「事故に
遭わない、起こさない」とい
う意識こそが、かけがえのな
い命を守る一番の鍵となりま
す。

連休も控え、外出の機会も
増える時期かと思いますが、
交通ルールを遵守して、どう
ぞ安全に健やかに過ごしく
ださい。



佐野市長
金子 裕

スポーツと文化を通してインドと交流
インドアフェス2026

- ①両日ともポカポカ陽気のイベント日和でした
- ②きらびやかな衣装も目を引くダンス
- ③佐野東高等学校生徒による鮮やかな琴の演奏



佐野市国際クリケット場で、3月14日(土)・15日(日)の2日間にわたり「インドアフェス2026」が開催されました。

グラウンドでは在日インド人の方々による国内最大規模のクリケット大会「SBIカップ」の白熱した試合が行われ、特設のステージではダンサー達による古典のインド舞踊や Bollywood ダンスが観客を魅了。佐野東高生徒は、日本の伝統楽器である琴の演奏を披露しました。

本格インドカレー店のブースから漂うスパイシーな香りにひかれ、お昼近くにはランチを求める行列が。さのブランド認証品の販売や伝統工芸品の展示コーナーも好評でした。来場者の中には、正装のサリーやクルタを着たインド人ご家族の姿も。

文化とスポーツを通して2つの国を結ぶ交流の場として、今後もますます盛り上がっていきそうなイベントです。

(市民記者 小林春美)



sanoteens が自動販売機をデザイン♪
佐野 SA 上り線オープニングイベント

3月17日(火)、東北道 佐野 SA (上り線) を「ドラマチックエリア佐野(上り線)」としてリニューアルオープンすることを記念し、オープニングイベントが開催されました。

オープニングイベントでは、NEXCO 東日本マナーアップキャラクター「マナーティ」とともに佐野ブランドキャラクター「さのまる」も来場者の皆さまのお出迎えを行いました。

また、高校生プロジェクト「sanoteens」が「レトロで可愛い×佐野市」をコンセプトに、佐野 SA 内の一部の自動販売機デザインを担当しました。

佐野 SA にお立ち寄りの際は、ぜひご覧ください♪



子どもたちの健やかな成長を願う
五月人形展開催中

葛生伝承館では6月21日(日)まで「五月人形展」を開催しています。この展覧会では、主に端午の節句に飾られたさまざまな人形やのぼりなどを展示しています。

五月人形の展示は県内でも珍しく、人形が身にまとう艶やかな鎧兜やその周りを彩る飾り道具が輝きを見せていました。来場者の方は迫力のある立派な人形に驚きの様子でした。

また、葛生伝承館の外に見えるのは大きな鯉のぼり。子どもたちの喜び様子が印象的でした。葛生伝承館の休館情報など、詳しくは19ページをご覧ください。